

2020年 夏季賞与交渉状況報告

本調査に関するお問合せ先
愛知県経営者協会（内線 550）
 会員サービス部
 名古屋市中区栄 2-10-19 会議所ビル7階
 Tel 052-221-1931 / Fax 052-221-1935

愛知県経営者協会では、毎年会員企業を対象に夏季賞与の交渉状況を調査している。
 調査結果は以下のとおりである。

【調査要領】

- 調査時期 2020年6月1日～7月28日
- 調査・集計対象 本会会員企業858社のうち、210社（24.5%）を調査対象としており、7月28日までに妥結を確認した186社を集計した。

【調査結果のポイント】

前年比 4.56%のマイナス、夏季賞与のマイナスは11年ぶり

妥結平均	: 617,360円	(2.22カ月分)
対前年	: ▲ 29,639円	/ ▲ 4.56% ※単純平均、同一企業対比

- 今回の夏季賞与調査結果では、リーマンショックの影響を受けた2009年以来11年ぶりに前年比マイナスとなった。製造、非製造問わず全業種でマイナスとなり、規模別では299人以下のマイナス幅が大きい結果となった。
- ・ 製造業では、米中貿易摩擦に伴う景気低迷の影響などにより減り幅が大きくなった。減少額で見ると、製造業8業種のうち「鉄鋼、金属製品、非鉄金属」で最も大きい減り幅となった。
- ・ 非製造業では、前年妥結額を上回った企業は49社中21社（42.9%）と、製造業の120社中35社（29.2%）と比べて多かった。これは、比較的賞与水準が低く、コロナ禍でも人手不足の傾向が強い非製造業においては、人材のつなぎ留めなどを理由に増額したと考えられる。
- ・ 妥結額の分布については、最も多いのが60-65万円（25社）であった。なお、0-20万円（6社）の中には、不支給（0円）とした企業もあった。
- ・ 妥結額の前年比について、最も多いのが0～5%のマイナスとした企業で52社（30.8%）、20%以上の大幅減とした企業は23社（13.6%）で昨年（10社5.5%）から大きく増加した。
- ・ 規模別に見ると、「1000人以上」および「300～999人」の企業では比較的小幅な減少となっている一方、「100～299人」「50～99人」「50人未満」の企業では10%超の大幅な減少となった。